

＜各教科等の指導の重点の見方＞

今年度の各教科等の指導の重点は、上段に「指導の重点事項」、「努力事項」を記載し、下段に**主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために**の欄を設けました。下段は、P1に掲載の平成30年度学校教育指導の重点全体構想「確かな学力」にある【授業スタンダード】に基づく授業づくりを受け、新たに5つのポイントに整理したもののうち、各教科等で重視したいポイントを2・3・5に絞り、構想の視点及び具体的な手立てや発問について示したものです。今年度は、授業の入口(ポイント3)と出口(ポイント5)を大切にしてほしいという願いから下段部分を作成しました。

上段の「指導の重点事項」、「努力事項」とともに参考にさせていただきたいと思います。

【「授業スタンダード」に基づく授業づくりの5つのポイント一覧】



ポイント1	単元をつくる・授業をつくる
ポイント2	教材との出会い・学習課題の把握
ポイント3	追究・解決(計画・方向付け・見通し)(個での追究・解決)
ポイント4	追究・解決(ペアやグループ・学級全体での話し合い)
ポイント5	まとめ・振り返り 新たな学び

教科	社会 (小・中)	
	指導の重点事項	努力事項
指導計画の作成	◎ 内容や時間のまとまりを見通した指導計画の作成	◎ 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、子どもの主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるための指導計画を作成する。 ○ 小・中学校のつながり、各学年の系統性、各分野の関連を踏まえた年間指導計画を作成する。
指導の工夫	◎ 作業的・体験的な学習の充実 ◎ 論理的な説明・議論を重視した言語活動の充実	○ 地域や身近な素材を生かし、子どもが興味・関心をもって学習に取り組めるように工夫する。 ◎ 社会的事象に関する様々な情報を取集し、読み取り、まとめたりする技能を身に付けるための、作業的で具体的な体験を伴う学習の充実を図る。 ○ 学校図書館、地域の公共施設、コンピュータ、映像資料、地図帳、地球儀などの学習環境や教材・教具を積極的に活用する。 ◎ 調査活動により、考察したことや選択・判断したことを、論理的に説明したり議論したりする言語活動を一層充実させる。 ○ 多様な見解のある事柄、未確定な事柄を取り上げる場合には、有益適切な教材に基づいて指導する。
評価の充実	◎ 追究の過程を見取った評価の充実	○ 単元や単元時間の評価標準を明確にして、目標・指導・評価の一体化を図った授業づくりに努め、学習指導要領の目標を達成できるようにする。 ◎ 子ども一人一人の追究の過程を多面的・多角的に見取り、子どものよい点や進捗の状況などを積極的に評価しながら指導を改善し、学習意欲の向上を図る。

＜上段：各教科の重点＞

福島県教育委員会発行の「平成30年度 学校教育指導の重点」を受けて、今年度力を入れて取り組んでいただきたい項目を右の「努力事項」の欄に記載しました。
その中でも、特に重点を置いて取り組んでいただきたい項目を◎ゴシック体で表記し、左の「指導の重点事項」の欄に、その内容を端的に表す小見出しとして記載しました。

＜下段：授業づくり

ワンポイントアドバイス＞

平成29年度の要請訪問の反省などから、今年度どの教科においても取り組んでいただきたい、ポイント2・3・5の実践例について記載しました。(道徳、特別活動、外国語活動は除く)
これらのポイントは、「主体的な学び」を実現するために重視したい大切な教師の働きかけです。

各ポイントの記載欄には、教科の特質に応じて、授業構想時に大切にしたい視点や課題を四角囲みで提示しています。
その視点や課題を踏まえて、具体的な手立てや発問、子どもの反応等を吹き出しで掲載しています。

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2「教材との出会い・学習課題の把握」 ポイント3「見通し」

遠い明確な事象を提示し疑問をもたせる導入の工夫 *安定的な政権運営の期間を目安にテープの長さを決定することで、長さの違いに注目できるようにした。

道台寄府
東町寄府
江戸寄府

これは鎌倉、室町、江戸幕府の年表をテープで表したものです。どんなことに気付いたり、感じたりしましたか？

江戸幕府が一番長く続いているなあ。どうして長く続いたのかなあ？

学習課題 江戸幕府は、どのようにして全国を支配したのか？

子ども自身の結果や判断、学び方等の見通しを明確にもたせましょう。

江戸幕府はどのようなことをして全国を支配したと思いますか？(内容)

どのように調べたいですか？(方法)

何を、どのようにまとめたいですか？(思考・判断・表現)

ポイント5「まとめ・振り返り 新たな学び」

「何を学んだか」をまとめ、「どのように学んだか」を振り返り、新たな学びに目を向けさせるための振り返る活動の充実

子ども自身が学びの内容を自らできる振り返る活動を充実させる。

江戸幕府は、どのようなことをして全国を支配することができたのですか。

何を学んだか

予想とは違う考えになっていたことはありませんでしたか。それはどうして変わっていったのですか。

どのように学んだか

今日の学習から、新たに疑問に思ったことや知りたいと思ったことは何ですか。

新たな学びへ

子どもの姿(つぶやき・表情・態度等)を大切に日々の授業づくりに取り組みましょう。

教科		国語 (小・中)	
	指導の重点事項	努力事項	
指導計画の作成	◎ 系統性を踏まえた指導内容の明確化	◎ 小・中学校を通じて、〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項と言語活動例のそれぞれにおいて、学習指導要領の系統表をもとに重点を置くべき指導内容を明確にする。 ○ 各領域の指導時数を適切に配当し、各領域の内容を相互に密接に関連付けて指導する。その際、学校図書館などを計画的に利用し、その機能の活用を図る。	
指導の工夫	◎ 自分の考えを形成する学習過程の重視 ◎ 情報の扱い方に関する指導の改善・充実	◎ 〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において、学習過程を明確にし、各指導事項を位置付ける。また、全ての領域において、自分の考えを形成する学習過程を重視する。 ○ 〔思考力、判断力、表現力等〕の育成を効果的に図るため、記録、要約、説明、論述、話し合い等の言語活動の充実を図る。 ◎ 情報の収集・整理・発信について、様々な手段で表現することができるように、情報の扱い方に関する指導の改善・充実を図る。 ○ 話や文章の中で使いこなせる語句を増やすなど、語彙の質を高めることができるよう、語彙指導の改善・充実を図る。	
評価の充実	◎ 日々の授業における評価規準の具体化	◎ 評価規準をより具体化し、評価場面を適切に設定することにより、日々の授業における評価を一層推進する。 ○ 言語活動の経過や結果の記録のファイル等を工夫し、評価資料の累積、活用に努める。	

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2「教材との出会い・学習課題の把握」 ポイント3「見通し」


子どもの初読の感想をもとに、単元のねらいを明確にした課題を設定する。

↓

前時の読み取りを基にして、新たな問いを引き出し課題を設定する。

↓

課題を解決するには、どの場面・どの表現に着目すればよいか見当を付けさせる。




ルロイ修道士は、なぜ命をけずってまで、教え子を訪ね歩いたのでしょうか。
(中3「握手」)

前の時間は兵十に伝えたいごん気持ちについて考えましたが、兵十にはごんその気持ちが伝わったのでしょうか。
(小4「ごんぎつね」)

みんなは伝わったと言いましたが、どこからそう考えられますか。その言葉や文に線を引きましょう。引いたら隣の人と確認合ってみましょう。
(小4「ごんぎつね」)

ポイント5「まとめ・振り返り」

本時の学びを観点を明確にして振り返り、再生(表現)する活動を取り入れる。



今日はどのような表現から、登場人物〇〇のどのような心情に迫ることができましたか。ノートに書きましょう。

今日学んだ登場人物の心情が伝わるように音読してみましょう。それを隣の人に聞いてもらって、感想を伝え合いましょう。

教科 社会 (小・中)		
	指導の重点事項	努力事項
指導計画の作成	◎ 内容や時間のまとまりを見通した指導計画の作成	◎ 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、子どもの主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるための指導計画を作成する。 ○ 小・中学校のつながり、各学年の系統性、各分野の関連を踏まえた年間指導計画を作成する。
指導の工夫	◎ 作業的・体験的な学習の充実 ◎ 論理的な説明・議論を重視した言語活動の充実	○ 地域や身近な素材を生かし、子どもが興味・関心をもって学習に取り組めるように工夫する。 ◎ 社会的事象に関する様々な情報を収集し、読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けるための、作業的で具体的な体験を伴う学習の充実を図る。 ○ 学校図書館、地域の公共施設、コンピュータ、映像資料、地図帳、地球儀などの学習環境や教材・教具を積極的に活用する。 ◎ 調査活動により、考察したことや選択・判断したことを、論理的に説明したり議論したりする言語活動を一層充実させる。 ○ 多様な見解のある事柄、未確定な事柄を取り上げる場合には、有益適切な教材に基づいて指導する。
評価の充実	◎ 追究の過程を見取った評価の充実	○ 単元や単位時間の評価規準を明確にして、目標・指導・評価の一体化を図った授業づくりに努め、学習指導要領の目標を達成できるようにする。 ◎ 子ども一人一人の追究の過程を多面的・多角的に見取り、子どものよい点や進捗の状況などを積極的に評価しながら指導を改善し、学習意欲の向上を図る。

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2 「教材との出会い・学習課題の把握」

ポイント3 「見通し」

違いの明確な事象を提示し疑問をもたせる導入の工夫 * 安定的な政権運営の期間を目安にテープの長さを決定することで、長さの違いに着目できるようにした。

鎌倉幕府 ██████████
室町幕府 ██████████
江戸幕府 ██████████

これは鎌倉、室町、江戸幕府の年数をテープで表したものです。どんなことに気付いたり、感じたりしましたか？

江戸幕府が一番長く続いているなあ。どうして長く続いたのかなあ？

学習課題 江戸幕府は、どのようにして全国を支配したのか？

江戸幕府はどのようなことをして全国を支配したと思いますか？ (内容)

どのように調べればいいですか？ (方法)

何を、どのようにまとめればいいですか？ (思考・判断・表現)

子ども自身の結果や判断、学び方等の見通しを明確にもたせましょう。

ポイント5 「まとめ・振り返り 新たな学び」

「何を学んだか」をまとめ、「どのように学んだか」を振り返り、新たな学びに目を向けさせるための振り返る活動の充実

子ども自身が学びの変容を自覚できる振り返る活動を充実させる。

江戸幕府は、どのようなことをして全国を支配することができたのですか。

予想とは違う考えになっていったことはありませんでしたか。それはどうして変わっていったのですか。

今日の学習から、新たに疑問に思ったことや知りたいと思ったことは何ですか。

何を学んだか

どのように学んだか

新たな学びへ

教 科		算数、数学
	指導の重点事項	努力事項
指導計画の作成	◎ 系統性を踏まえた指導計画の作成	○ 各学年、各領域で働く数学的な見方・考え方を明らかにし、数学的活動を充実させることができよう指導計画を工夫する。 ○ 子どもの学習を確実なものにするために、学び直しの機会を適切に位置付ける。 ◎ 単元や学年及び小学校、中学校、高等学校との関連や系統性を踏まえ指導内容に軽重を付け重点化を図る。
指導の工夫	◎ 数学的な見方・考え方を育てる数学的活動の充実 ◎ 確かな定着を図る、振り返りの充実	○ 問題発見・解決の過程を学習過程に反映させるとともに、各場面で言語活動を充実させる。 ◎ 数学的な見方・考え方を働かせ、子どもが主体的に数学的活動に取り組むことができるようにする。 ・ 日常や社会の事象から問題を見だし解決する活動 ・ 数学の事象から問題を見だし解決する活動 ・ 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動 ○ 学習の効果を高めるために、必要に応じ、ICTの活用を図る。 ◎ 事象の問題解決と振り返りや統合的・発展的な考察を計画的に取り入れる。
評価の充実	◎ よさや可能性を伸ばす評価の工夫	○ 学習活動における評価規準や育てたい力を、子どもの具体的な姿として明確にし、評価を適切に行う。 ◎ ノートやレポートなど、授業後に教師が確認し行う評価と、授業中の見取りを適切に組み合わせて、それぞれの生徒の特性にも配慮した評価を行い、指導に生かす。

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2「教材との出会い・学習課題の把握」 ポイント3「見通し」

○ 事象から問題を見いだす活動を大切にしましょう。

課題 どうすれば画用紙300枚を、全部数えないで用意できるだろうか？

伴って変わる量には何がありますか？
何が変わると、伴って何が変わりますか？
この中にどんな関係がかかっていますか？

○ 「数学的な見方・考え方」を育む発問を工夫しましょう。

どうして「比例している」と思ったのですか？
比例の関係を使うということは…？
表はどのような見方をすればよいですか？
そのほかの方法はありませんか？

表やグラフに表せます。
たてに見ると「決まった数」が分かります。

表に表してみようかな？
グラフに表してみようかな？

※ 発問は「事実」、「方法」、「理由」のいずれを求めているのか、授業者が明確にして問いかけることで、子どもの考えの取り上げ方が効率的になり、「深い学び」へつなげるコーディネートができるようになります。

※ 全国学力・学習状況調査 解説資料 問題作成の枠組み参照

ポイント5「まとめ・振り返り 新たな学び」

○ 「ねらい」に迫る振り返りの充実を！

観点を明確にして本時の学びを振り返り、再生する活動を取り入れる。

比例の考えを使って解決したけど、どんなところがよかったですか？
今日の考えを生かして、(適用)問題を解いてみましょう。
今日の「学び」で、できるようになったことをノートに書いてみましょう。

ねらいからぶれぬ「まとめ」
身に付けた力を確かめる適用を
自己肯定感を高める振り返りを

教科		理科(小・中)
	指導の重点事項	努力事項
指導計画の作成	◎ 日常生活や他教科との関連を図った指導計画の作成	◎ 指導計画の作成に当たっては、理科を学ぶことの意義や有用性を実感できるよう、日常生活や他教科との関連を図る。 ○ 直接体験を重視し、基礎的な観察・実験の技能を習得する機会及び科学的に探究する学習活動に取り組む時間を十分確保するよう工夫する。 ○ 小・中・高等学校の学習内容の系統性を踏まえた指導計画を工夫する。
指導の工夫	◎ 解決するための見通しをもたせる工夫	◎ 子ども一人一人が問題を見だし、解決するための見通しをもち、調べた結果を分析して解釈する学習活動の充実を図る。 ○ 理科で目指す資質・能力の育成に向け、科学的に探究する学習活動の工夫・改善を図る。 ○ 指導の効果を高めるため、振り返る活動を計画的に取り入れるとともに、地域の環境や人材などの資源及びICT機器の活用を図る。
評価の充実	◎ よさや可能性を伸ばす評価の工夫・改善	◎ 子ども一人一人のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習意欲を高める。 ○ よさを認め合う相互評価や自己評価を工夫し、学習状況を多面的にとらえ、指導に生かす。

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2「教材との出会い・学習課題の把握」

ポイント3「見通し」

身近な事象や具体物の提示、演示実験などにより、子どもの問いを引き出す。

窓が曇っていて、外の様子が見えないな。朝は見えていたのに...

窓以外に、水滴がついて曇っているものを見たことがありますか。

課題を解決するための方法を、子どもに考えさせる。

コップに水滴がついて濡れていることがあります。

コップの表面は、いつも濡れるのですか？

* 方法の見通し、結果の見通しの観点から、予想や仮説を含む実験計画が立てられるように指導する。

冷たい水を入れたときだけ濡れる気がします。本当にそうなのか、コップに入れる水の温度を変えて調べてみたいです。

ポイント5「まとめ・振り返り 新たな学び」

根拠のある説明ができるように指導しましょう！(実験の留意点は？どうしてそう言えるの?)
観察・実験での基本的な操作について、その意味を理解させながら習熟を図りましょう！

子ども自身が学びの変容を自覚できる、振り返る活動を充実させる。

どのようなときに、水滴ができることがわかりましたか。そう判断する理由も書きましょう。

今日の実験で、工夫したことや気を付けたこと、できるようになったことは何ですか。

今日の学習を通して、もっと知りたいことや疑問に思ったことは何ですか。

温度を読むときに、1目盛りの十分の一の大きさまで目分量で読めるようになりました。

教科		生活	
	指導の重点事項	努力事項	
指導計画の作成	◎ カリキュラムマネジメントの視点に立ったスタートカリキュラムの作成・改善	◎ 幼児期の遊びを通じた総合的な学びから、各教科等における、より自覚的な学びに円滑に移行できるよう、カリキュラムマネジメントの視点から検討し、生活科を核としたスタートカリキュラムの作成・改善を行う。 ○ 育てたい資質・能力を明確にし、学校や地域の実態を生かしながら、子どもが主体的に学習の対象と繰り返し関わることができる指導計画を作成する。 ○ 時間的・空間的・心理的なゆとりを大切に、子どもがじっくり活動できるよう指導計画を工夫する。	
指導の工夫	◎ 情報交換、自己決定する場面設定の工夫	○ 学習の対象との情緒的な関わりを重視して、気付きの質を高め、次の活動につなげる学習指導を工夫する。 ○ 子どもが自らの思いや願いを実現し、充実感、達成感、自己有能感、一体感などを感じ取ることができるよう学習活動を工夫する。 ◎ 活動を通して獲得した情報を交換する場面や、自ら判断し自己決定する場面に授業に位置付ける。	
評価の充実	◎ 子どもを多面的、総合的に見取り、次の指導に生かす評価の工夫	◎ 子どもを多様な方法で多面的、総合的に見取り、一人一人のよさや可能性、活動や体験の広がりや深まり及びその中の気付きなどの進歩の状況を把握し、次の指導に生かせるように工夫する。 ○ 子どもの発言やつぶやき、行動、作品などの「表現」を通して子どもの「思考」をとらえる評価に努める。	

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2 「教材との出会い・学習課題の把握」 ポイント3 「見通し」

生活経験や教科等と関連があり、子どもの思いや願いがふくらむような教材を設定する。「幼稚園のお友達と秋で遊ぼう」

幼稚園のお友達と楽しく遊ぶには、どんなことをしたらいいでしょう？

いろいろな色の葉っぱで飾りを作りたい。【A児】

ドングリで、おもちゃを作りたい。【B児】

幼稚園の友達に何か教えてあげたいな。【C児】

子どもの思いや願いの実現に向けた活動を設定する。

今まで、どんな遊びをして秋を楽しみましたか？
(幼稚園での活動を振り返る)

それでは、秋を見付けに公園まで行って、材料を集めてきましょう。

他者との協働や伝え合い交流する活動により、気付きの質を高める。

見て！葉っぱに目を描けば、顔に見えるよ。【A児】

このドングリでコマを作れそうだよ。【B児】

松ぼっくりの首飾り作りがいいかな。一緒に作り方を教えてあげようよ。【C児】

ポイント5 「まとめ・振り返り 新たな学び」

教師の働きかけにより、話したり書いたりして表現する振り返る活動を充実させる。

幼稚園のお友達と遊んで、どんなことが楽しかったですか？
(学習を振り返る)

葉っぱを使って、いろいろな顔が描けて楽しかったです。【A児】

最初はうまく回せなかったけど、だんだん回せるようになっておもしろかったです。【B児】


飾りの作り方を教えてあげたら、上手にできて喜んでくれました。うれしかったです。【C児】

教科 音楽 (小・中)		指導の重点事項	努力事項
指導計画の作成	◎ 表現活動と鑑賞活動との関連付け	◎ 小・中学校9年間の目標及び内容の系統性を踏まえ、連続性を考慮し、各領域及び各分野がバランスよく配置された年間指導計画を作成する。 ◎ 題材で育みたい資質・能力を明確にし、表現活動(歌唱、器楽、創作)と鑑賞活動との関連を図る。	
指導の工夫	◎ 音と言葉によるコミュニケーションの充実 ◎ 音楽表現を試しながら楽しむ音楽づくり	◎ 題材の目標に照らし、学習内容を厳選するとともに、魅力ある適切な教材を精選して、指導の充実を図る。 ◎ 子どもの実態とねらいに応じて、多様な学習形態を取り入れて協働的な学習を促し、音と言葉によるコミュニケーションを図る指導を充実させる。 ◎ 我が国や郷土の音楽に対して、音楽の多様性を理解することができるような指導を工夫する。 ◎ いろいろな音楽表現を試し、互いの表現のよさを交流するなどして、音楽づくりの過程を楽しめるようにする。	
評価の充実	◎ 子ども一人一人の学びを支える評価の工夫	◎ 学校や子どもの実態等に応じて、評価の観点をもとに評価規準を作成し、指導と評価を一体として子どもの学習状況を把握する。 ◎ 子どもが思いや意図をもって音楽表現を追究したり、音楽の美しさを味わったりする学習過程を組織し、その過程において子ども一人一人のよい点や成長の状況などを積極的に評価し、指導に生かす。	

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2 「教材との出会い・学習課題の把握」 ポイント3 「見通し」

身近な素材を生かし楽曲との出会いの場を設定する導入の工夫



楽曲との出合わせ方を工夫し、学習課題の設定をする。

学習課題
祭囃子のどんなところがワクワクするのかな？
自分なりの方法で説明できるようにしてみよう！

- ・地域祭礼の映像資料の視聴から音のみの聴き取りへ
- ◎ 神社のお祭りですね。たくさんのお店があって楽しいですね。音が聴こえます。何の音でしょう？(モニターに布をかけて)お囃子ですね。笛、和太鼓、鉦の音が聴こえますよ。どんな感じに聴こえますか？
- ・本単元の教材を聴かせてお囃子との比較へ
- ◎ 神社のお囃子と聴き比べてみて、どんなところが似ていますか？

自然に体が動いて、ワクワクしてくる。

口ずさんでみたら…

手や膝を打ってみたら…

音楽を形づくっている要素と照らしてみたら…

ポイント5 「まとめ・振り返り」


まとめた内容を具体的な演奏や鑑賞を通して再生・確認する振り返る活動の充実

共有した内容を、再度演奏したり、鑑賞したりする。

子どものまとめ

違う音色の楽器を同時に使うと、音が重なり合ってワクワクしてくる。

鉦の音を聴くと、はずむようなリズムを感じる。体で表現すると、細かく飛び跳ねるような動きになるからワクワクしてくる。



1つの楽器と3つの楽器の演奏を聴き比べながら確かめてみましょう。

速度とリズムに気を付けながらもう一度聴き、体を動かして表現してみましょう。

教科 図画工作、美術		
	指導の重点事項	努力事項
指導計画の作成	◎ 幅のある題材を位置付けた指導計画の作成	○ 幼稚園、小・中学校・高等学校の連続性を意識し、育成する資質・能力と学習内容の関係を明確にした指導計画を作成する。 ○ 表現と鑑賞の関連性や〔共通事項〕の視点を生かした題材のねらいの系統性を考慮して、指導計画を作成する。 ◎ 各内容を関連付けたり一体的に取り扱ったりできる幅のある題材を指導計画に位置付ける。 ○ 学習環境の整備に努めるとともに、安全指導を適切に位置付ける。
指導の工夫	◎ 共に学び高め合う学習活動の充実	○ 材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う表現方法を工夫し、自己選択や自己決定できる場を設定する。 ○ 言葉で喩えたり見立てたり置き換えたりする活動や、表したいテーマやイメージを文章で伝える活動を工夫する。 ◎ 形や色、材料などに関わりながら共に学び高め合う学習活動を充実する。
評価の充実	◎ 自己評価や相互評価の工夫	○ 育成したい資質・能力、題材や授業のねらいを踏まえ、評価規準を具体化するとともに、評価場面を適切に設定し、授業における評価を充実する。 ◎ よさを認め合う評価や改善点が明確になるような評価に努め、次の活動への意欲につながるような自己評価や相互評価を工夫する。

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2 「教材との出会い・学習課題の把握」 **ポイント3 「見通し」**

中2美術科「お菓子のパッケージデザイン」

◎ 題材を自分のものとして受け止め、表現への思いや願いをふくらませることができるよう、魅力ある題材との出合わせ方を工夫する。

◎ アイデアスケッチ等で構想を練ったり言葉や文章で思い付いたことを整理したりする。

* 思考ボードや付箋を活用し、構想したことを可視化して考えさせていくことが重要！！

* 様々なお菓子のパッケージを観察させた上で

↓

多くの人にお菓子のイメージや内容を伝えるために、パッケージをどのようにデザインしたらよいでしょうか？

食品メーカーのデザイナーのように、味やイメージを、形や色彩で分かりやすく表したいな。

* 形や色彩の感情効果などのデザインの要素を共通に理解させた上で

↓

「パッケージデザインの企画書」「アイデアスケッチ」を基に各自のデザインの意図をグループで話し合ってみましょう。

ポイント5 「まとめ・振り返り 新たな学び」

自分の表し方の変化や友達の表現のよさをどのように取り入れたかなど、友達と関わりながら表現してきた過程を振り返ることができるようにする。

↓

デザインの意図に照らして、作品をグループやクラス全体で鑑賞し批評し合ひましょう。

お菓子の味やイメージに合った配色がなされていて効果的なデザインになっていると思いました。

文字や図柄などの情報量が多すぎて、うまく伝わらないデザインもあったぞ。いろいろな商品のパッケージを調べてみよう。

* 自分の思考の変容や感じ方の特徴に気付くとともに、社会生活に生かしていくことができるようにする。

教科		体育、保健体育	
		指導の重点事項	努力事項
指導計画の作成	◎ 具体的な体力向上推進計画の作成と実施		<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの実態等を踏まえた指導内容の明確化・体系化を図るとともに、「何をどのように教えるのか」を整理し、各種運動種目の単元構成や年間配当、時間配当、運動の取り上げ方を一層弾力化した指導計画を作成する。 ◎ 新体力テスト等の結果を踏まえ、自校の体力・運動能力の課題を解決するとともに、体力を高めるための具体策を盛り込んだ体力向上推進計画を作成・実施する。 (小)「運動身体づくりプログラム」の定着と継続的な実践 (中)運動の特性に応じた補強運動の工夫
	◎ 指導内容の整理と体系化を図った指導の充実		<ul style="list-style-type: none"> 【運動領域・体育分野】 ◎ 子どもの発達段階を考慮し、各運動が有する特性や魅力に応じて、基本的な動きや技能、知識が身に付くよう、指導内容の整理と体系化を図り、運動の楽しさや喜びを実感させる。 ○ 体づくり運動(系)は、すべての学年で指導し、体の動きを高める運動の必要性を感じさせ、学習したことを実生活に生かすことができるように指導方法を工夫する。 ○ 個々の生徒の実態に応じた指導を通し、運動技能の習得や向上など、子どもが自己の変容や成長を実感できるようにする。 【保健領域・保健分野】 ◎ 健康に関心をもてるよう、多様な指導方法を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・知識を活用する学習活動を積極的に行う。 ・ICTの活用や実習・実験、課題学習等を取り入れる。 ・養護教諭や栄養教諭等の専門性を有する教職員の参加協力を推進する。 ○ 保健領域(保健分野)と運動領域(体育分野)相互の関連を図り、指導内容を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。
指導の工夫	◎ 多様な指導方法の工夫		
評価の充実	◎ 指導の改善に生かす指導と評価の一体化		◎ 評価の観点や評価の方法を明確にし、指導と評価の一体化を図る。

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2「教材との出会い・学習課題の把握」 ポイント3「見通し」

※「ボール運動(リトルリーグ)」

前時(既習)の学習内容、反省から「問い」「思い・願い」を引き出し課題を設定する。

課題を解決するために何が必要かを考えさせ、解決に向けた「見通し」をもたせる。

前の時間のゲームでは、なかなかラリーが続かなかったな～。

めあて(課題)
ラリーを続けて楽しくゲームをしよう！
～ラリーを続けるにはどうしたらよいでしょうか～

めあてを達成するためにチームや自分自身の弱点(課題)は何か、あげてみましょう。

ボールが来てもすぐに動けなかったから、素速く動けるように、立ち方を変えてみようかな？

誰がボールをとるのかわからなかったから、お互いに声をかければよいかな？

ポイント5「まとめ・振り返り 新たな学び」

本時の学習で、「何を学習したのか」「何ができるようになったのか」を振り返らせ、今後の目標をもたせる。

今日の学習で分かったこと、できるようになったことは何か、学習カードにまとめましょう。

立つ時に姿勢を低くしたら、素速く動けることがわかったし、今までとれなかったボールがとれてうまくパスできた～！

この次、ラリーをもっと長く続けるには、どうすればよいでしょうか。

この次は、ボールが来る場所を予測して、お互いに早めに声をかけてみよう。

教科 家庭		指導の重点事項	努力事項
指導計画の作成	◎ 関連性や系統性に配慮した指導計画	◎ 日常生活の中から問題を見いだして様々な解決方法を考え、他者と意見交流し、実践を評価・改善して、課題を解決する過程を重視した学習の充実を図る。	◎ 内容項目や指導事項の相互の関連や他教科等との関連を明確にするとともに、中学校の学習を見据えて、系統的に指導できるよう題材を構成する。
指導の工夫	◎ 言葉や図表などを用いて説明する学習活動の充実 ◎ 実践的・体験的な活動の充実	◎ 自分の生活における課題を解決するために、言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図る。 ◎ コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用して、実習等における情報の収集・整理や実践結果の発表などを行うことができるように工夫する。	◎ 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、実践的・体験的な活動の充実を図る。 ◎ 家庭や地域との連携を図り、子どもが身に付けた知識・技能などを日常生活に活用できるよう配慮する。
評価の充実	◎ 主体的な学習を促す評価	◎ 自己評価や相互評価を学習過程に効果的に位置付け、子どものよい点や進歩の状況を積極的にとらえ、主体的な学習を促す評価となるようにする。 ◎ 毎時間の学習状況を継続的に把握して指導に生かす。	

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2「教材との出会い・学習課題の把握」 ポイント3「見通し」

小6「衣服の着用と手入れ」

* 洗ってあるシャツと汚れたシャツの観察をさせた上で

家庭との連携を図り、自分自身の衣食住に関する実態調査等から問題を見いだして、解決すべき課題を設定する。



シャツを洗濯するとき気を付けていることを家族にインタビューしてみましょう。

特に汚れているところは、手で洗っていたぞ。洗剤の量や水の温度については、どんなふうに変えるといいのかな？



仮説を立てて試行したり、比較検討したりして、解決策を具体化しながら、計画を立てる。



どんな洗い方がよいか試し洗いを行い、なぜそうなったのかや、疑問点を考えてみましょう。

* 試し洗いを行った後に、「洗剤の量」「水温」「洗い方」等のキーワードをもとに解決策を具体的に考えさせる。

ポイント5「まとめ・振り返り 新たな学び」

* 実習カードの記入欄に書いてきた自分の考えや気づきをもとに

授業の各段階で、自分が考えたことや見つけたことなどを自分の言葉でまとめさせておき、それらをもとに、友達と話し合い、学習の過程を振り返ることができるようにする。



うまくいったことや疑問に思ったことなどをグループで話し合い、深まった考えを実習カードに記入しましょう。

汚れが多いところに洗剤の量を多くしたので、汚れがよく落ちたぞ。

友達が工夫していたことも取り入れて、家でやってみよう。



教科 技術・家庭		
	指導の重点事項	努力事項
指導計画の作成	◎ 段階的、系統的な題材配列	◎ 題材で育成する資質・能力を明確にし、段階的、系統的に題材を配列するとともに、指導すべき内容に漏れがないよう指導内容確認表を用いて確認する。 ○ 小・中学校及び高等学校の関連する教科等とのつながりを考慮し、3学年間を見通した指導計画を作成する。
指導の工夫	◎ 考えたり説明したりする学習活動の充実 ◎ 実践的・体験的な活動の充実	◎ 自分の生活における課題を解決するために、言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図る。 ○ コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用して、実習等における情報の収集・整理や実践結果の発表などを行うことができるように工夫する。 ◎ 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、実践的・体験的な活動を充実する。 ○ 家庭や地域社会、企業などとの連携を図り、子どもが身に付けた知識・技能などを日常生活に活用できるよう配慮する。
評価の充実	◎ 主体的な学習を促す評価の工夫	○ 評価の内容や方法を改善し、具体的な題材ごとの指導計画と評価規準を作成する。 ◎ 自己評価や相互評価を学習過程に効果的に位置付け、子どものよい点や進歩の状況を積極的にとらえ、主体的な学習を促す評価となるように工夫する。

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2「教材との出会い・学習課題の把握」 ポイント3「見通し」

中2 家庭分野「幼児と触れ合おう」

既習の知識・技能や生活経験を基に生活を見つめ、それに関わる調査等をもとに課題を設定する。



「キッズ体験」や「キッズウォッチング」から、どんなことに気づきましたか。

折り紙をやっている子もいたけど、手先はどのくらい器用なのかな。



仮説を立てて試行したり、比較検討したりして、解決策を見通し、計画を立てる。



手先の器用さを調べるとしたら、どんな遊びをしたら、調べられるでしょう。

* 方法の見通し、結果の見通しの観点から遊びの計画が立てられるように指導する。

新聞紙を使って、一緒にいろいろなものを作りながら遊んで調べてみたらどうだろう。



ポイント5「まとめ・振り返り 新たな学び」

体験から感じ取ったことや気付いたことを自分の言葉でまとめ自己評価したり、整理・考察したことを相互評価したりする活動を取り入れる。



こども園での体験や保育士から得た情報、収集した資料をもとに、友達と話し合いながらキッズレポートにまとめ、発表し合いました。

自分が調べた手先の機能も個人差があったけど、友達に調べた言葉の発達にも個人差が見られたぞ。

* レポートをまとめる過程で、体験と言葉とが結び付き、実感を伴った理解へとつながるように指導する。

次に幼児と触れ合うときには、個人差も考えて遊びを準備しよう。




教科		外国語 (中)
	指導の重点事項	努力事項
指導計画の作成	◎ 小学校外国語活動の成果を踏まえた系統性のある指導計画の作成	◎ 小学校外国語活動における学習内容や成果を十分に踏まえるとともに、高校との接続を意識しながら系統性のある指導計画を作成する。 ○ 授業時数を効果的に単元に配当し、各領域の活動やそれらを統合的に活用する活動を適切に位置付け、年間を通してバランスのとれた5領域の総合的な育成を図る。 ○ 「CAN-DOリスト」形式での学習到達目標を設定し、単元を通して「英語を使って何が出来るようになるのか」を明確にし、具体的な子どもの姿で評価規準を設定する。
指導の工夫	◎ 「目的・場面・状況」を明確にした言語活動の充実	○ 授業の中で「英語に触れる機会」を十分に確保し、授業全体を英語による「実際のコミュニケーションの場面」とするため、授業は英語で行うことを基本とする。 ◎ 「目的や場面、状況等を理解する」「見通し」「学び合う」「振り返る」学習活動を重視し、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 ○ 学習意欲が高まるよう、「日常的な話題」や「社会的な課題」など生徒の実態に即した課題を設定する。
評価の充実	◎ 「CAN-DOリスト」を活用した評価場面・評価方法の明確化	○ 「CAN-DOリスト」形式での学習到達目標を活用し、評価場面・評価方法を明確にする。 ○ 単元(授業)の目標、学習内容・活動、評価規準、評価の場面や方法、評価結果に基づく支援の整合性を図る。 ○ 単元目標や内容等に応じて指導と評価の重点化を図る場合においても、年間を通じてバランスよく評価する。


主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2 「教材との出会い・学習課題の把握」 ポイント3 「見通し」


教材との出会い・学習課題の把握
○ 「目的・場面・状況」の明確化


学習課題「今週末と一緒に〇〇する友達を見付けよう」
～予定を述べたり尋ねたりするにはどうすればよいか～

 What are your plans for next Sunday? I'm going to watch soccer games in the park. How about you?


 I see. You are gonig to practice baseball next Sunday.


So next, please ask each other about your plans. How do you ask? What do you say?


 Next Sunday? I practice baseball.
?? I'm going to ... practice baseball.

 うーん。尋ねるときは、どう言えばいいのだろうか?

見通し
○ 既習事項の想起、関連付け、活用

 be動詞があるから、疑問文にするにはbe動詞を主語の前に出せばいいのかな?

 「何をするか」を尋ねるのだから
What are you going to do? 正しいのでは?


 Are you going to practice baseball? 正しいのかな?


ポイント5 「まとめ・振り返り 新たな学び」


まとめ・振り返り 新たな学び
○ 既習事項と組み合わせたまとめ

Please write about some plans of your friends.

* 新出事項と既習事項を組み合わせたまとめに取り組ませることで、新出事項の汎用性を理解させるとともに、既習事項の定着を図る。

 You did a good job today!!
How many frineds can you find?

 Kumikoのことを書くには...?
Kumiko だから be 動詞は is だよな...

 Kumiko and I ...am...are going to play tennis in the park.
こうすれば、いっしょにテニスをするといいよ。I'm going to play tennis with Kumiko. でも同じ内容だね。

- 18 -

外国語活動

1 系統性のある指導計画の作成

- 小・中学校の連携や同一中学校区内の小学校間の連携を図り、小学校修了時の子どもの具体的な姿から各学年の目標を適切に定め、その達成に向けた系統性のある指導計画を作成する。
- 実施上の課題等の把握や指導計画の作成は、全職員の共通理解の基、学校全体で取り組むとともに校内研修の充実を図る。特に、移行措置に係る学習内容に不備が生じないように留意する。

2 コミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成

- ◎ 単元の最終段階での目指す子どもの姿を明確にしながら単元を構想するとともに、目標を子どもと共有することで、見通しをもって主体的に学習に取り組めるようにする。 *1
- ◎ 子どもの興味・関心を考慮し、各教科等の学習内容と関連付けを図りながら学習課題を設定するとともに、目的・場面・状況を明確にした上で活動に取り組めるよう配慮する。 *2
- 外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ活動と、身に付けた知識・技能を活用し思考・判断しながら表現するような活動のバランスに配慮した授業を構想する。

3 指導と評価の一体化

- ◎ 授業や単元の終末において、互いのよさについて認め合う場を設定するとともに、授業や単元の導入時との比較を基にした見取りを充実させ、変容や成長について称賛する。 *3
- 子どもから「もっとやってみたいこと」「もっと知りたいこと」を引き出し、次の単元や学年、中学校での学習に向けた意欲付けを図る。

外国語活動の授業の充実のために（単元を見通した授業づくりの例）

単元 の 導 入	<p>*1</p> <p>今日から新しい単元に入ります。単元の最後には、「何ができるか」をヒントにしたクイズ大会をしますよ。</p> <p>Hello everyone! I'm from Aichi. I can run fast. I can play baseball very well. Who am I?</p> <p>クイズ大会なら、前にもやったことがあったけど、前とは何か違うのかな？うまくできるかな？</p> <p>?? 愛知県出身で、野球が上手にできる人だから…イチロー選手かな？</p> <p>単元の導入では、教師がある人物になりきり、一人称の表現でクイズを行うことで活動内容の理解を図る。</p> <p>That's right!! I'm Ichiro. Now I live in America.</p> <p>Are... Are you Ichiro?</p>
単元 の 中 段	<p>*2</p> <p>This is one of your teachers. He can cook curry and rice very well. And he can swim very fast. Who is he?</p> <p>swim very fast? · curry and rice? Heだから、男の先生だよなあ…</p> <p>Who is he?</p> <p>わかった。高橋先生だ。 He... He is Mr. Takahashi?</p> <p>よし。たくさん質問するぞ！ Hello. Can you swim fast? Can you play the piano?</p> <p>That's right!! He is Mr. Takahashi. He can ski well, too.</p> <p>つぎは、みなさんの番です。友達に英語で質問して、クイズのヒントになる情報をたくさん集めましょう。</p>
単元 の 終 末	<p>*3</p> <p>Let's enjoy Quiz today! Are you ready?</p> <p>ええっと…、男の子だから、Heを使うんだよね…</p> <p>「〇〇出身」は確か…</p> <p>This is my friend. He can play table tennis very well. He can cook Okonomiyaki. Who is he?</p> <p>This is a player. She can play table tennis very well. She is from Yamaguchi. Who is she?</p> <p>自分と相手以外の人についても上手にクイズにすることができたね。〇〇さんのクイズのヒント、とてもよかったですよ。</p> <p>単元の終末では、heとshe、canを使う必然性のある活動を行う。</p> <p>〇〇さんのヒントの出し方、上手だったなあ。僕ももっといろいろなことを英語で言えるようになりたいな。</p>

1 実効性のある全体計画、指導計画の作成、学校全体で取り組む推進体制の確立

- 校長の明確な方針の基、道徳教育推進教師を中心としながら、全教師が共通理解し協力して、全体計画及び指導計画を作成する。
- 子どもの発達段階や特性を踏まえ、指導内容を重点化した全体計画を作成する。
 - ・ 子どもや学校、地域の実態を踏まえ、学校における重点目標を設定するとともに、指導内容の重点化を図る。
 - ・ 「別業」の作成にあたっては、学校における重点目標との関連を図るとともに、各教科等における道徳教育の「内容と時期」が明確になるよう工夫し、その活用を図る。
 - ・ 学校の「いじめ防止基本方針」や各教科の目標や全体計画と道徳教育の関連性や整合性を明確にする。
- より活用しやすい指導計画を作成に努める。
 - ・ 主題の設定と教材の配列を工夫し、「自校ならでは」の指導計画の具現化を図る。作成にあたっては、「ふくしま道徳教育資料集」等の地域素材を位置付け、積極的な活用を図る。
 - ・ 小(中)指導要領解説・道徳編(小:p71, 中:p70)に記載されている「各学年の年間にわたる指導の概要」の「具備することが求められる事項」(各学年の基本方針、指導の概要等)を踏まえた計画を作成する。

2 多様な指導方法・指導体制等の工夫、家庭や地域との連携

- ◎ 「読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習」「問題解決的な学習」「道徳的行為に関する体験的な学習」を取り入れるなど、子どもの心に響く多様な指導方法を工夫する。
- 教師同士が授業を見合うなど、学年内、学校内で共通認識をもちながらチームとしての取組の充実を図る。
- 保護者や地域の人たちが授業に参加する機会を積極的に位置付ける。また、保護者や地域の人たちが参加、協力する指導体制を工夫する。

3 児童生徒の成長を受け止め、認め、励ます評価の充実
(中学校：全面実施に向けた見通しの明確化)

- ◎ 個々の内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえた評価として実施する。
- 評価の観点や方法、評価のために収集する資料などについてあらかじめ学年内、学校内で共通認識をもつようにする。
- 道徳科の授業や評価について、保護者や地域の人たちに説明する機会の充実を図る。

※は参考文献等

道徳の時間の評価について

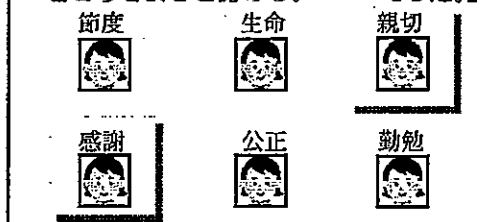
児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

※改訂学習指導要領 第3章第3の4

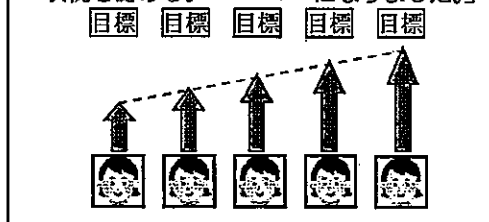
- 個々の内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえた評価とする。
- 他の子どもとの比較ではなく、その子どもがいかに関心したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価(※)として行う。

◇ 大きくりなまとまり(時間的なまとまり)における個人内評価の考え方の例

○ 学習状況ごとに横並びにして、突出したところをよさと認める。「～でした。」



○ 学習状況を時間的に縦に並べて、進歩の状況を認める。「～になりました。」



※平成29年度道徳教育指導者養成研修【中央指導者研修】報告

1 自校の教育課題解決を目指した指導計画の工夫・改善

- 学校や地域社会の実態、子どもの発達段階を踏まえ、各活動・学校行事を通して育てたい資質・能力を明確にした指導計画の工夫・改善に努める。

2 集団や社会の形成者としての資質・能力を育成するための指導の充実

- 各活動において育てたい資質・能力を明確にし「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。
- 子どもが集団や社会の形成者として合意形成に関わり、役割を担うことができるようにする。
- 指導内容を精選・重点化し、体験的な活動の充実を図るとともに道徳的実践の指導の充実を図る。

【学級活動】

- 話し合い活動を充実させ、活動内容(1)が十分展開できるようにする。
- 日常の生徒指導との関連を図りながら指導することで活動内容(2)の充実を図る。
- ◎ キャリア教育との関連を図り、望ましい職業観・勤労観を育む。※小学校で(3)新設

【児童会・生徒会活動】

- 協力的な指導体制の充実を図り、異年齢集団の特質を生かし、自主的、実践的な活動を助長する指導・援助やリーダーシップの育成に努める。

【クラブ活動(小)】

- 子どもの興味・関心を十分に踏まえ、学校、地域の実態を考慮しつつ、自発的、自治的に企画、運営できるよう適切な指導を行う。

【学校行事】

- 行事のねらいや特質に応じて精選化を図るとともに、多様な人々との交流体験や文化的な体験(小)、職場体験(中)等を重視し、自主的・実践的な活動が展開できるように工夫する。

3 よさや可能性を積極的に認めた資質・能力の評価

- ◎ 活動の過程で一人一人を見取り、よさや可能性を積極的に認めるとともに、多様な振り返る活動により集団や自己の変容に気付かせ、子どもの自信や次の活動への意欲を高める。

特別活動の充実のために

※は参考文献等

学級活動における「話し合い活動」の充実と「キャリア教育」との関連

【学級活動(1)】「学級や学校における生活づくりへの参画」

学級委員や計画委員による司会、記録等の役割分担、活動の計画・立案等により自分たちの活動であることへの自覚と責任をもたせるとともに、アンケートや事前調査等により子ども一人一人の問題意識や改善意欲を高める。

【学級活動(2)】「日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」

子どもが切実感をもって話し合い、具体的な改善策を伴う自己決定ができるように資料を提示する。また、養護教諭、学校栄養職員などの専門性を生かした指導や、家庭や地域との連携・協力を図ったり、個に応じた指導を工夫する。

【学級活動(3)】「一人一人のキャリア形成と自己実現」

将来に向けた自己実現に関わるものであることから、できるだけ子どもによる話し合いを生かして考えを深め、子ども一人一人の主体的な意思決定を大切にする活動とそれに基づく実践等を大切にする。
 ・ 「目指す姿」について話し合い、目標に向かって取り組めるようにすることを重視する。
 ・ 係活動など、自分の役割を果たすことの意味や大切さについて考え、他と協力してやり遂げ、成就感や達成感を味わえるようにする。

「振り返る活動」の充実

- ◎ 活動の過程で一人一人を見取り、よさや可能性を積極的に認めるとともに、多様な振り返る活動により集団や自己の変容に気付かせ、子どもの自信や次の活動への意欲を高める。

- ・ 活動の目的を明確にした上で実施し、育てたい資質・能力に即した視点で振り返らせ、教師が積極的によさを認め、子ども同士でも認め合う場を設定する。
- ・ 体験発表会、新聞による紙上発表、礼状作成など、多様な方法で活動を振り返り、活動後の変容に気付かせるとともに、何が変容につながったのかについて考えさせたり、話し合わせたりする。

※ 楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)(平成26年7月 国立教育政策研究所)

※ 学級・学校文化を創る特別活動(中学校編)(平成28年3月 国立教育政策研究所)



総合的な学習の時間（小・中）

H30から新学習指導要領による実施

1 育みたい具体的な資質・能力を明確にした探究課題の設定

- 教科横断的な学習が充実するようカリキュラムマネジメントの視点から、総合的な学習の時間の目標は、各学校の教育目標を踏まえて設定する。
- ◎ 子どもや地域の実態、総合的な学習の時間の目標を踏まえ、育みたい具体的な資質・能力を明確にして探究課題を設定する。
- 各教科等との関連や地域の資源の活用、発達の段階や学習経験、校種間の接続等に配慮するとともに、全教師の関わりに加えて外部の人材を取り入れるなど、組織的な指導が図られるよう年間指導計画を工夫する。

2 探究のプロセスを重視した学習過程の工夫

- ◎ 探究のプロセスを重視した学習を繰り返し展開できるように、「整理・分析」及び「まとめ・表現」を重視した学習過程を工夫する。
- 問題の解決や探究的な学習の過程には、他者と協働して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析しまとめたり表現したりする学習活動などが行われるようにする。その際、比較したり、分類したり、関連付けたりするなどの考えるための技法を活用する。

3 子どもが自己のよさに気付く評価の工夫

- ◎ 子どもが自己の変容を振り返り、今後の取組に生かすことができるよう、自己評価、相互評価を工夫する。
- 学習の状況や成果などについて、一人一人のよさや学習に対する意欲や態度、進歩の状況などを踏まえて適切に評価する。

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業を充実させるための実践例

1 目標を実現するにふさわしい探究課題を設定し、計画を立てる

【例】 実生活の中で問いを見だし、子どもの学習活動が豊かに広がっていく教材
地域で起きる災害から身を守るには？



【児童A】
近くの川では、堤防の工事をしているぞ。堤防の高さはどれくらいあるのかな。

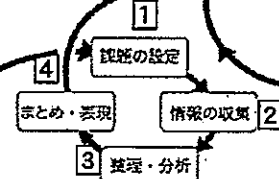


【児童B】
私たちの地域で起きるかもしれない災害には、どのようなものがあるのかな。

【児童C】
いざというときのために、救命救急法について学びたいな。



・町役場に行くと、防災対策がわかるかな。
・消防士さんに教えていただけないかな。



2 情報を収集する

3 情報を整理・分析する

もしも堤防が決壊すると、この範囲まで浸水するから...



4 まとめ・表現する



まとめでは、根拠を示して説得力のある説明となるよう工夫しましょう。

5 新たな課題を設定し、発展させる

お年寄りの避難について、私たちにできることは何だろうか。



今度、お年寄りが近所に住んでいるかどうか調べることにしよう。



*ここまでの学びを振り返り、気づきを促す。新たな気づきを基に探究を深める。